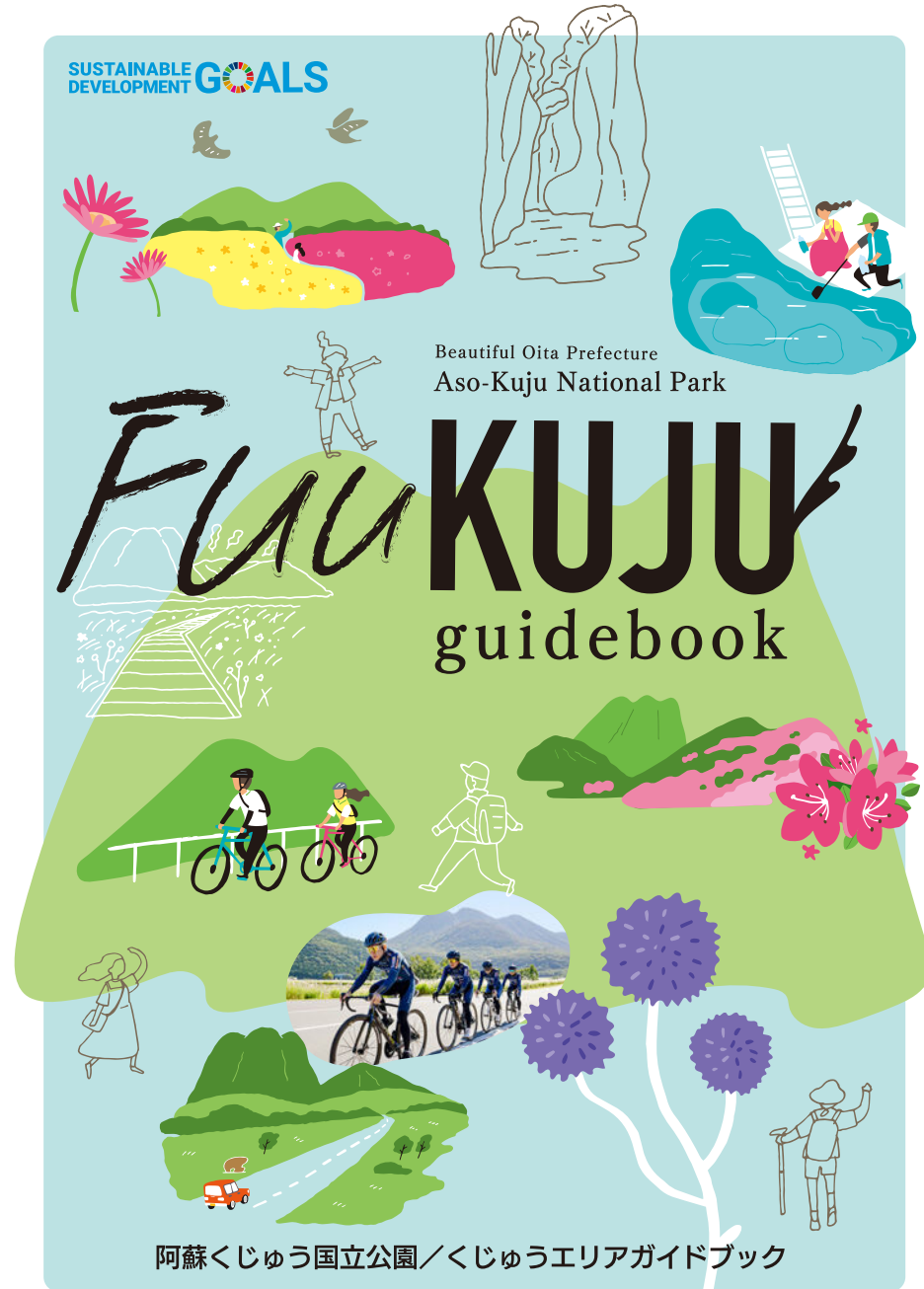




阿蘇くじゅう国立公園

阿蘇くじゅう国立公園は、大分県と熊本県にまたがる九州の中央部に位置し、雄大な阿蘇カルデラとくじゅう連山を中心に広がる自然豊かなエリアです。放牧や野焼きが育むなだらかな草原が続き、四季折々の山の彩りや温泉、トレッキングなど、多彩な楽しみを通して自然の息づかいを体感できます。

大分県生活環境部 自然保護推進室 自然保護班
 大分市大手町3丁目1番1号 tel 097-506-3035



阿蘇くじゅう国立公園 / くじゅうエリアガイドブック



Colorful

花を模したソフトクリームも人気。

くじゅう花公園 20 B-5

標高850mの久住高原に広がる花の楽園。春から秋にかけて約500種・500万本の花々が咲き誇り、季節ごとの彩りが楽しめます。園内にはレストランやカフェもあり、ゆったり過ごせます。



くじゅう連山 31 B-3、B-4

九重町から竹田市北部にかけて広がる山々。九州本土最高峰・中岳(1,791m)を中心に1,700m級の山々が連なり、“九州の屋根”と呼ばれています。《見どころ》5~6月 ミヤマキリシマ(国の天然記念物) / 夏 新緑 / 秋 紅葉 / 冬 雪景色

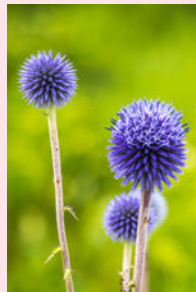


くじゅうスキー場 18 D-3

標高1,300m、総延長2,500mのゲレンデを誇る九州最大級のスキー場。上質な雪と多彩なコースで、初心者から上級者まで楽しめます。

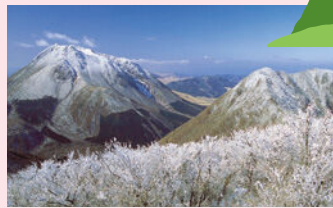


四季折々の彩りに包まれるくじゅう地域。春の野焼きから始まり、初夏はミヤマキリシマが山肌を染め、夏は緑が輝き、秋は黄金色のススキが風に揺れ、冬は雪が静かに峰を包みます。四季の移ろいととも表情を変える自然の美しさを、ゆっくりと感じてみましょう。



さわら 夕ヶ原湿原 15 C-3

標高1,000m、国内最大級の中間湿原。夏は青紫のヒゴタイ、秋はススキが風に揺れ、くじゅうの自然を象徴する景観が広がります。2005年に坊ヶツルと共に県内初のラムサール条約に登録。



しちりだ A-4 七里田の桜 26

岳麓寺(かくろくじ)周辺に咲く八重桜が里山を彩る。



つるみ 鶴見岳 1 A-1

阿蘇くじゅう国立公園の東端に位置し、山上へは別府ロープウェイで標高1,300mまで上ることができます。鶴が羽を広げたように見える陸地の形が鶴見岳の名前の由来といわれています。《見どころ》5~6月 ミヤマキリシマ約5,000本 / 夏 平地より約10度涼しい避暑地 / 秋 紅葉の絶景 / 冬 霧氷の幻想的な風景



ゆふ 由布岳 2 A-1

標高1,583mの双耳峰。美しい山容から「豊後富士」と呼ばれ、春には由布院盆地に桜と菜の花が咲き誇ります。

FOOD

レストハウスやまなみ 12 C-3

長者原の登山口そばにある人気の休憩スポット。地元食材を使った料理やスイーツが楽しめ、くじゅう連山を眺めながら九重「夢」バーガーを味わえます。

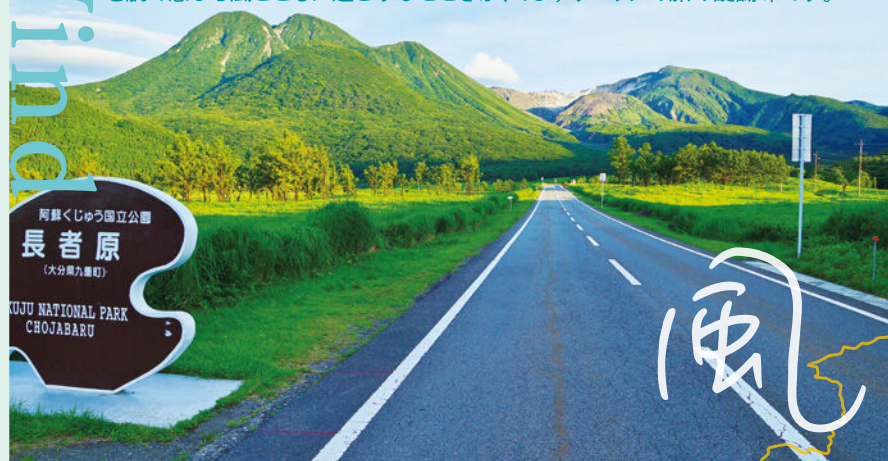
町内の店舗にて地元食材で工夫を凝らしたご当地バーガーを提供。



イメージ

Wind

どこまでも続く青空の下、くじゅう連山を望む高原に吹き抜ける風を全身で感じてみませんか。やまなみハイウェイを渡る爽やかな空気に包まれ、自然の息づかいを肌で感じる風とともに過ごすひとときが、くじゅうエリアの旅の醍醐味です。



ちようじゃばる
長者原ビジターセンター 13 C-3

くじゅう地域の自然を紹介する展示施設。季節の映像や衛星写真、立体模型を通して、阿蘇くじゅう国立公園の魅力がわかりやすく体感できます。

ヌー・クジュウ
NU:KUJU 11 C-3

九重の草原に誕生した自然体験フィールド。動物とふれあう自由放牧エリアや花の庭、広大なドッグランのほか、九重の食を楽しむレストランやショップも揃う、自然と人がつながる新名所です。

レンタサイクル 5 C-2

高原の風を感じながら巡るなら、レンタサイクルがおすすめ。ガイド付きツアーでは、飯田高原の景色と自然を五感で楽しめます。



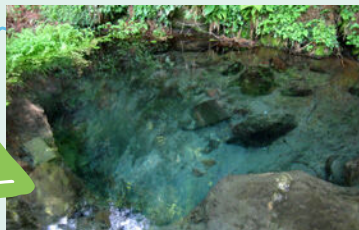
乗馬 6 C-2

くじゅう連山や阿蘇五岳を背景に、初心者から乗馬を体験できます。なだらかな丘陵を馬と共に歩けば、風と一体になる心地よさが味わえます。



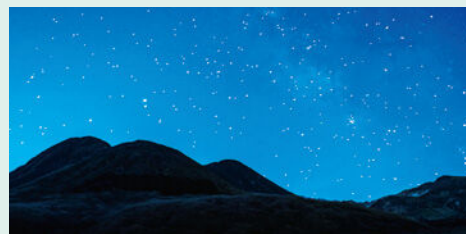
おいけ
男池 28 B-3

黒岳の麓から湧き出る湧水で、底まで見える透明度が魅力。隣接する原生林には遊歩道があり、夏でも快適な気温で森林浴やトレッキングを満喫できます。



このえ
九重“夢”大吊橋 8 C-2

標高777m地点に架かる長さ390m、高さ173mの歩道専用としては日本一の高さの吊橋。橋の上からは震動の滝や鳴子川渓谷の原生林を一望でき、新緑や紅葉など四季の彩りが眼下に広がります。



星空観察 14 C-3

1700m級の山々が連なるくじゅうエリアの夜は、澄み切った空気と深い夜空が織りなす、天然のプラネタリウム。満天の星が瞬く幻想的な空間で、静寂に包まれた特別な時間を過ごせます。

FOOD

くじゅう
久住ワイナリー 23 B-5

標高850mの高原に広がるワイナリー。欧州系ぶどうの栽培から醸造まで一貫して行い、レストランではピザやパスタとともに地ワインを味わえます。



ソフトクリーム&ジェラート

4 C-2 **8** C-2 **22** B-5 **25** B-4

くじゅうエリアでは牧場の牛乳や特産品を生かしたオリジナルソフトクリーム・ジェラートが充実。エリア内の各店舗での食べ比べにも挑戦してみよう。





湯

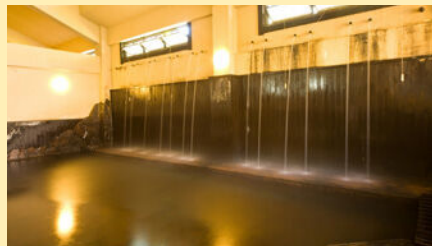
うげ ぐち
釜の口温泉 ⑦ C-2

鉄分と硫黄を含む黄金色の炭酸泉。胃腸に良いとされ、文豪・川端康成も滞在した名湯です。湯けむりと共に、文学の気配を感じる静かな時間が流れます。



かん
寒の地獄温泉 ⑩ C-3

標高1,100mの高地に湧く冷泉で、13~14℃の冷泉に水着で入る珍しい体験ができます。「薪ストーブサウナ」もあるので、通年楽しむことができます。



すじゆ
筋湯温泉 ⑰ C-3

標高1,000mの山あいに千年以上の歴史を刻む温泉地。滝のように流れる湯は「筋の病に効く」と伝わり、噴気が立ちのぼる「小松地獄」では地熱の迫力を体感できます。

山あいに湯けむりが立ちのぼり、静かな時間が流れるくじゅうの温泉郷。澄んだ空気と豊かな自然に包まれ、湯のぬくもりが旅の疲れをやさしく癒します。泉質も風情も多彩な湯どころで、心身共にリラックスできるひとときをどうぞ。



あかがわ
赤川温泉 ⑱ C-5

「日本一の硫黄冷鉱泉」と称される名湯。三つの源泉から湧く湯はコバルトブルーのにごり湯。滝を眺めながら入る露天風呂で心身を解き放てます。



ほっけいん
法華院温泉 ⑳ B-3

登山者だけがたどり着ける標高1,303m、九州で最も高い場所にある秘湯。湯宿からは大船山(たいせんざん)や平治岳(ひいじだけ)・立中山(たちちゅうざん)を望み、春のミヤマキリシマや秋の紅葉など、くじゅうの自然が一望できます。



ほうせんじ
宝泉寺温泉 ㉑ C-2

空也上人が杖を突いたその地から、突如泉が湧き出したと伝えられ、千年経った今も枯れることなく湧き続け、町を潤しています。初夏には町田川沿いで無数のホタルが舞う幻想的な光景に出合えます。

FOOD

ぶんごぎゅう
おおいた豊後牛 ㉓ B-2

農家レストラン「べべんこ」の焼肉丼は、品質の高い豊後牛の中でも、おいしさにこだわった肉質4等級以上のものだけを選んだ「おおいた和牛」を使用。



しらみず
白水鉱泉 ㉔ A-3

黒岳の原生林に囲まれた湧水地。天然炭酸水がこんこんと湧き出し、旅館ではこの水を使った流しそうめんも楽しめます。自然の恵みを味わうひととき。